



® 平成31年 4 月 5 日 (金)

No. 14906 1部370円 (税込み)

発行所

一般財団法人 経済産業調査会

東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)

郵便番号 104-0061

[電話] 03-3535-3052

[FAX] 03-3567-4671

近畿本部 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4

(MF天満橋ビル8階) [電話] 06-6941-8971

経済産業調査会ポータルサイト <http://www.chosakai.or.jp/>

特許ニュースは

- 知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年61,560円 6カ月32,400円
(税込み・配送料実費)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び
入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

目次

☆ブラジル知財の概況…………… (1)

☆調査・解析から見た知財戦略 [19] …… (15)

ブラジル知財の概況

日本貿易振興機構(ジェトロ) サンパウロ事務所

知的財産権部長 岡本 正紀

1. はじめに

日本国特許庁(JPO)は中南米地域における情報収集や日本企業支援を強化するとともに、同地域における国際協力を促進するため、2016年10月に初めて日本貿易振興機構(ジェトロ)サンパウロ事務所に職員を派遣した。現在、筆者はサンパウロ事務所知的財産権部(以下、「サンパウロ知財部」という。)をゼロから立ち上げるという貴重な経験を積ませて

もらっている。

サンパウロ知財部がカバーするエリアは中南米カリブ海地域と広範囲にわたっている。同地域の知的財産分野における日本の窓口的役割を果たすべく、現在までに南米12カ国(アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、コロンビア、エクアドル、ガイアナ、チリ、パラグアイ、ペルー、スリナム、ウルグアイ、ベネズエラ)、中米8カ国(ベリーズ、コスタリカ、



特許業務法人

三枝国際特許事務所

代表社員・所長 林 雅仁*

社員・相談役 三枝 英二*

www.saegusa-pat.co.jp



大阪オフィス

〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番1号 北浜TNKビル
TEL : 06-6203-0941 (代) FAX : 06-6222-1068 e-mail : mail@saegusa-pat.co.jp

社員・副所長 中野 睦子*
社員・副所長 菱田 高弘*

<化学・バイオ部>

宮川 直之
河合 永文*
北野 善基*
難波 泰明
八木 祥次
葉垣 善行
野村 千澄
松野 陽介
岩澤 朋之*

森嶋 正樹
幸 芳*
淀谷 幸平*
東野 匡容*
兼本 伸昭*
西橋 毅
内藤 勝志
竹本 有貴

<機械・電気部>

鈴木 由充
鶴 寛
奥山 美保
<商標・意匠部>
松本 康伸*
青木 覚史
<知財情報室>
関 仁士

新田 研太
植田 慎吾

小川 雅加美*

東京オフィス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-8-1 虎の門三井ビル9F
TEL : 03-5511-2855 FAX : 03-5511-2857 e-mail : tokyo@saegusa-pat.co.jp

社員・副所長 東京オフィス所長 斎藤 健治
社員・副所長 岩井 智子

<化学・バイオ部>

藤田 雅史
鴻 宗義

池上 美穂

<商標・意匠部>

田上 英二
吉川 麻美

中村 剛*

*特定侵害訴訟代理可能

エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマ)、カリブ3カ国(ドミニカ共和国、ジャマイカ、トリニダード・トバゴ)の知的財産当局のトップらを訪問し、日本からの問い合わせなどに対応可能な連絡体制を構築している。ここに挙げた国々すべてを旅行や仕事で訪れた日本人は少なくないと思われるが、これらの国のすべての知的財産当局を訪問した日本人は筆者くらいではないだろうか。

サンパウロ知財部では中南米地域における知的財産関連の様々な情報を1つのウェブサイト¹に集約して公開している。進出日本企業数の多いアルゼンチン、ブラジル、メキシコに関してはニュースレターという形で毎月情報提供を行っている。また、日本企業などが現地で知的財産に関する問題に直面した場合、最初に必要とするのが現地法律事務所の情報であることから、知的財産分野に強いとされている法律事務所一覧を17カ国分作成し、公表している。この法律事務所一覧には各事務所の連絡先や対応言語に関する情報などに加え、取扱い件数ベースでの過去の実績や日本企業クライアントの有無などに関する情報も掲載されている。法律事務所一覧以外にも、ブラジルを中心に各種マニュアルや調査報告書を当該ウェブサイトからダウンロードすることが可能となっている。

中南米カリブ海地域各国の知的財産事情は様々で

あるが、表1からも明らかなように、同地域における経済・知財大国はブラジルとメキシコであり、日本からの特許出願も他の国々と比較して圧倒的に多い。

ブラジルは深刻な特許審査遅延問題を抱えており、この問題を解消するために様々な取り組みを行っていることもあり、近年、非常に大きな動きを見せている。そこで、本稿では最初にブラジルの知的財産関連の統計情報について簡単に紹介した後、ブラジルの特許審査遅延問題への取り組みについて解説する。

2. ブラジル知的財産関連統計情報

JPOに相当するブラジルの政府機関はブラジル産業財産庁(以下、「INPI」という。)である。INPIはJPOとは異なり、特許・実用新案・意匠・商標制度に加え、地理的表示制度も所管している。またブラジル特有の制度であるライセンス契約などの知的財産関連契約の登録業務も行っている。INPIは特許審査官331名、商標審査官144名を含む1049名²の職員を抱える中南米屈指の規模の知的財産当局である。

表2はINPIが受理する特許・実用新案・意匠・商標の出願件数である。特許出願件数が減少傾向にある一方で、商標出願件数は増加傾向にある。実用新案出願件数と意匠出願件数には大きな変化は見られない。表2のカッコ内のパーセンテージは外国出願が占める割合を示しており、特許出願は外国出願の

表1：中南米主要国のGDP、人口、特許出願件数

	GDP	人口	2017年の特許出願件数	
			総数	日本からの出願
ブラジル	2兆560億ドル	2億 930万人	25658	1717
メキシコ	1兆460億ドル	1億2920万人	17184	1274
アルゼンチン	5454億ドル	4385万人	3443	142
ベネズエラ	3807億ドル	3102万人	434	-
コロンビア	3092億ドル	4865万人	2372	72
チリ	2632億ドル	1791万人	2894	88
ペルー	1951億ドル	3182万人	1219	45
コスタリカ	576億ドル	486万人	523	20
パナマ	552億ドル	403万人	409	-
ウルグアイ	532億ドル	343万人	523	5
ボリビア	378億ドル	1122万人	336	8
パラグアイ	297億ドル	685万人	317	-

出典：ジェトロウェブサイト、外務省ウェブサイト、WIPOウェブサイト及び、海外在留邦人数調査統計(平成30年要約版)。(注)パナマに関する日本からの特許出願件数は2016年の数値。パラグアイの特許出願件数はパラグアイ知的財産庁から直接聴取した2016年の数値。